

事業所名

児童発達支援・放課後デイサービスさくら

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

8日

法人（事業所）理念	子どもたちの健全な発達に向け、利用しやすい参加しやすい家庭や園・学校以外の場、子供たちをはじめ家族が主役の安心と信頼の居場所を提供します。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの療育プログラムに沿った必要な療育を行います。一人ひとりの課題に合わせ、オーダーメイドで療育を行います。</li> <li>・遊びの中で身体を動かしたり対話をしたりしながら、個別で、グループでコミュニケーションを学びます。</li> <li>・地域交流となる様々なイベントを行い、季節感を味わったり地域への関心を深めたりします。</li> </ul>						
営業時間	8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	身辺自立	手を洗う、靴をはく、パンツ・ズボンをはく、シャツを脱ぐ、シャツを着る、靴下をはく、お片づけ、石けんで手を洗う、危険の認識、手をつないで歩く、トイレトレーニング、衣類の前後、ボタンをはめる、服の裏表、靴の左右、シャツを入れる、鼻をかむ、服をたたむ、ジッパー、立ち小使				
		学習姿勢	椅子への誘導、学習姿勢に関する指示、学習姿勢の維持				
	運動・感覚	運動・感覚	ジャンプ、ボールのやり取り、ボールを蹴る、三輪車、上手投げ、ダンス・体操、ケンケン、ボール投げ、ボディイメージ				
		マッチング	3D、似たもの、2D、色、形、仲間、シルエット				
	認知・行動	動作模倣	身ぶりの模倣、物に関する固有の模倣、立ってする動作模倣、物に対する複数の動作模倣、連続動作模倣、指の模倣、目と表情の模倣				
		認知	探す、仲間でないもの、物の記憶、所在記憶、線結び、動作・活動の想起、絵合わせ、迷路、何がない？、同じのどれ？、どこが違う？どこがへん？、表の理解、思考問題				
	言語 コミュニケーション	音声指示	身ぶりの音声指示、立ってする指示、物に対する固有の指示、物に対する複数の指示				
		指示理解	いろんな言い方の指示、多要素指示、自分の名前に反応する				
		命名・要求表現	取ってきて、○○ちょうだい				
		ことばと概念	分類、大小・多少、位置、性別・世代、表情と感情、方向、大きさの順序、どこが同じ、どこが違う、位置（左右）、語彙を増やす、可能表現、思考表現				
		文と文法	二語文、三語文、これ・あれ				
		知識と理解	動物の鳴き声、物の色・形、絵本				
		応答と会話	名前を呼ばれて返事をする、社交的応答、挨拶・儀礼的応答、意志のyes/no、否定表現、しらない、質問の弁別、ある/ない、情報交換の会話、うん/ううん、過去の出来事に関する質問、報告、好き・嫌い				
		積極的言語 コミュニケーション	要求語+目合わせ、注意をひく、名前付き要求、二語文の要求、大声で呼ぶ、許可を求める、質問の自発、援助を求める				
非言語コミュニ ケーション	楽しい活動時の目合わせ、要求時の目合わせ、応答的目合わせ、要求の指さし、目合わせの持続、指さしの理解、受動的共同注視、能動的共同注視、ジェスチャーの理解、ジェスチャーによる意思表示						
ことばと数の概 念	線模倣、1～3までの数、4以上の数、○個ちょうだい、数字、いろんな数え方、固定したもの、数の単位、回数						
人間関係 社会性	関わり遊びと社 会性	身体を使って遊び、乗り物遊び（関り）ままごと遊び（関り）、滑り台、やり直し、追いかっこ、勝ち負け、じゃんけん、おにごっこ					
家族支援	家族が安心して子供にかかわり続けていけるよう支援します。 必要に応じて、居宅訪問、事業所内、オンライン等で支援計画に基づいた相談援助を行います。			移行支援	必要に応じて園を訪問し、日々の様子を共有し、子どもとの関わり方について相談、助言などを行います。		
地域支援・地域連携	行事等を通して地域と協力・連携し支援を行います。			職員の質の向上	定期的な研修、事業所内自己評価を実施しています。		
主な行事等	調理、工作、ゲーム遊び、縁日遊び、ハロウィンパーティ、クリスマス会、防災訓練、はつもうで、地域歩き、買い物、日常生活体験、保護者会 など						